

平成27年度第7回水道審議会会議録

日 時	平成28年2月4日（木） 午後4時から5時	
場 所	秦野市水道局庁舎2階会議室	
出席委員 〔敬称略〕 ※◎会長、○副会長 ※正副会長以下 区分別に五十音順	◎松下 雅雄、○柳川 清紀、松原 沙織、宮田 義範、伊藤 章、今 昭夫、 齊藤 政和、高橋 宣明、内藤 房薫、長澤 健、中山 知江、山口 政雄 計12名	
欠席委員 〔敬称略〕	荒川 裕美子、丹羽恵理子、石川 道隆 計3名	
委員以外 の出席者	水道局長 山口 誠一 水道業務課長 遠藤 秀男 水道業務課専任主幹（兼） 課長代理（料金担当） 田中 和也 水道業務課課長代理（庶務担当） 和田 安弘 水道業務課庶務担当主査 塩田 健介 水道業務課庶務担当主事 西澤 冠	水道施設課長 原 恵一 水道施設課課長代理（建設担当） 野村 正道 水道施設課課長代理（浄水担当） 秋山 眞一郎 水道施設課課長代理（計画担当） 小宮 政美
会議次第	1 開 会 2 会長あいさつ 3 議 事 (1) 料金改定に関わる市議会審議結果について (2) 平成28年度水道事業会計予算（案）について (3) その他	
会議資料	1 平成27年度第7回秦野市水道審議会次第 2 資料1 料金改定に関わる市議会審議結果について 3 資料2 平成28年度主要施策説明書（案） 4 資料3 平成28年度秦野市水道事業会計予算（案）総括表 5 資料4 水道用水供給料金の改定（案）の概要 6 資料5 組織構成について 7 参考資料 広報はだの「上下水道特集号」	

事務局

本日は、ご多用のところ、ご出席いただきありがとうございます。

只今から平成27年度第7回秦野市水道審議会を開催します。

「会議成立について」ですが、委員15名のうち12名の出席をいただいていますので、秦野市水道審議会規則第6条第2項の規定により、審議会が成立していますことを報告します。

松下会長からごあいさつをお願いします。

松下会長

—会長あいさつ—

事務局

それでは、資料の確認をいたします。

—資料確認—

それでは、会長に進行をお願いします。

松下会長

本日の次第に従いまして、議事に移ります。

それでは、議題1の「料金改定に関わる市議会審議結果について」を議題とします。事務局、説明をお願いします。

水道局長

説明の前に委員の皆様一言お礼を述べさせていただきます。

日ごろより本市水道行政に対しまして、様々なご意見、ご指導を賜り厚くお礼申し上げます。

また、一昨年、昨年と、お忙しい中、長期にわたり調査研究、熱心なご審議をいただき、誠にありがとうございました。

昨年の10月には「水道料金のあり方について」答申をいただきました。これを受けて、昨年の12月議会に料金改定の議案を提出し、可決の運びとなりました。経営状況や施設の現状に鑑みて、料金の引き上げは止むを得ないとの、皆様と同様の認識を、議会でも持っていただいたものだと思っております。

一方、様々なご意見、ご注文をいただきました。私どもとしても真摯に受け止めると共に、これからは、料金改定の本格的なスタートと認識しております。広報はだの2月1日号、検針時での各戸お知らせリーフレットの配布など、本格的に市民の皆様へのお知らせをスタートしたところでもあります。

今後も今回見直しを行いました施設整備計画、財政計画の水道事業計画に基づき、しっかりと取り組んでまいりますので、引き続きご指導、

	ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。
水道業務課 課長代理 (庶務担当)	—料金改定に関わる市議会審議結果について説明—
松下会長	事務局から、審議結果についての説明がありました。 質疑応答に移りますが、広報はだの、リーフレットでのお知らせについて、市民から何か反応はありましたか。
水道業務課長	現在のところ、「なぜ料金をあげるのか」というような趣旨のご質問などはありません。大口事業者への説明訪問を実施していますが、概ね了承いただいています。
水道業務課 庶務担当主事	お電話で1日1～2件のお問い合わせをいただいています。料金の引き上げについては、ご理解いただいている方は多く、具体的にご自分の料金がいくらになるのかといった問い合わせが多いです。 また、アパートの大家さん等、少し大きい口径のご利用者の方から、口径を下げるができるのかというお問い合わせもいただいています。
松下会長	その他、ご意見等をお願いします。
中山委員	主婦連の会合で料金改定の話をしました。皆さん水道の実情についてご理解いただき、不平不満はありませんでした。
松下会長	その他特によろしければ、議題2「平成28年度水道事業会計予算(案)について」に移ります。事務局からの説明を求めます。
水道業務課長	—平成28年度水道事業会計予算(案)について説明—
松下会長	平成28年度予算について、市長も概ね了承したとの説明がありました。ご意見等をお願いします。
高橋委員	資料3の(5)業務の予定量について、給水戸数が平成27年度の75,800戸から平成28年度は76,100戸と300戸増えるとの

ことですが、この根拠は何でしょうか。

水道局長

このところ毎年、給水量及び有収水量は減少していますが、単身世帯は増えている状況があります。そのトレンドを捉え、300世帯ほどは増えるだろうとの見込みです、

内藤委員

関連してですが、秦野市の人口は17万人から今、少し減っていると思いましたが、それでも世帯数は増えているということでしょうか。

水道局長

人口は現在約16万8,000人で多少減少しています。ただ、単身世帯については、今もなお増加している状況です。単身世帯用の集合住宅も、随時建築されていますので、もうしばらくは、人口は減るものの、世帯数は増えるという現象が続くものと考えています。

松下会長

昨年審議した事業計画、財政計画に準じた予算とのこと。また、課題であった県水受水費について、減額があったとのこと。

その他、特によろしければ、議題3「その他」に移ります。事務局からの説明を求めます。

水道業務課
課長代理
(庶務担当)

今年度は今回の審議会が最終の予定。来年度は下水道部と合併し、「上下水道局」として、新たな一步を踏み出す年となります。

資料5に、28年度からの組織構成案をお示ししました。

これまでの「水道業務課」を「経営総務課」に改め、「水道業務課料金担当」と「水道施設課給水維持担当」の給水業務とを合わせて「営業課」を新設します。

一方、給水業務を除く水道施設課は、ライフラインとその安全性を確保するため、その組織を維持します。主な事務内容は、参考にお配りした、広報はだの「上下水道特集号」に記載があります。

この水道審議会につきましては、4月以降、経営総務課経営企画担当が事務局を務めさせていただくこととなります。

今後、上下水道事業の組織統合をはじめとして、これまで以上に経営の効率化に取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

松下会長

4月以降の組織についての説明がありました。ご意見等をお願いします。

山口委員

下水道部との統合とのことですが、職員数については、どのように変

化するのでしょうか。

水道業務課長

平成28年度については、実際には部長級の1名の減という形になります。その後包括委託業務範囲の拡大等で事務の効率化を進め、平成30年度にまた1名の減を予定しています。水道局が現在38名ですので、36名までの減となります。

水道局長

水道、下水道で共通する事務的な業務については、合理化を進め、人員を減少していきますが、ライフラインですので、施設等を管理、維持していく技術職員等については、そのまま維持していきたいと考えています。

組織統合により、水道、下水道両会計で3～4名の削減も可能でしたが、下水道の鶴巻地区への浸水対策等、組織統合によって生み出した人員を、新たな仕事に取り組む事が可能になりました。物理的には部局長1名の減にとどまりますが、組織統合によってそのような効果も発生しています。

松下会長

他に無ければ、議事については、以上をもちまして終了します。

水道業務課
課長代理
(庶務担当)

本日の水道審議会を閉会します。
どうもありがとうございました。